

今後の予算・決算審査の在り方についての協議事項

新友会	<p>○予算審議について 現状の常任委員会での審議でよいが、定期的な予算執行等について（閉会中も含めて）審議することも必要ではないか。</p> <p>○決算審査について 9月定例会の会期中の中で、決算審査が終了する審議日程を編成し、9月定例会の会期中に決算審査を完結することによって、次年度予算編成に決算審査の内容が反映できる。</p>
共産党	<p>予算審査は現状どおり。 決算審査は審査時間を多く確保するため、6月定例会で設置するなど、早めの審査開始をする。</p>
改革ネット	<p>決算審査の第一段階として、予算編成に確実に反映するため、決算特別委員会による審査の前倒し（可能な限り）、短期集中審査、臨時会による委員長報告の採択という方法を検討できないか。</p> <p>第二段階として、予算審査と決算審査の総合的・一体的審査を可能とする方法を検討する。9月議会での議会人事という制約があるが、予算決算常任委員会（全体会）の設置、常任委員会を分科会と位置づけ、詳細審査を行ったうえで、分科会委員長報告を全体会で総括質疑を行い、とりまとめを行う方法を検討できないか。</p>
公明党	<p>決算書類のできる時期が早まれば、9月定例会で決算特別委員会の報告ができる⇒来年度の予算に反映できる。</p> <p>◎現在の審査方法の検証（審査時期、時間、方法） ◎予算審査の際、決算での指摘事項を確認しておく。</p>
西村議員	<p>新公会計制度で作成された財務諸表を活用し予算審査や決算認定の議論に活かすことを目的にした財務書類検討委員会を設置する。</p>

今後の協議事項（案）

決算	<p>決算特別委員会審査の早期実施 審査時間、方法の検証 決算審査の次年度予算への反映 予算決算常任委員会の設置</p>
予算	<p>定期的な予算執行等の審査 決算審査の次年度予算への反映 予算決算常任委員会の設置</p>
その他	<p>財務書類検討委員会の設置</p>